



新たな気持ちで！！

4月になり新年度がスタートし、早いもので1カ月が過ぎようとしています。ピカピカの一年生も少しずつそれぞれの場所に慣れ、緊張もほぐれ、逆にそろそろ疲れが出始める頃でしょうか？

❁スタート！①

人生の中で、スタートラインに立つことは幾度も訪れます。その中でも学校生活スタートの小学一年生は、親も子どももワクワク・ドキドキで、毎日が不安と緊張の連続ではないでしょうか。

入学してみるとおぼえることはたくさんあるし、今まで経験したことのない「宿題」というものが出されます。これからの長い学校生活の中で、この「宿題」から逃れることはできません。夏休みになると、毎日の宿題よりもはるかに多く、色々調べなくてはいけない宿題が出されます。そのときに役立つのが図書館です。図書館にある本を活用して調べ、いろんな課題を解決していくのです。小学一年生のうちは、そんなに難しい宿題は出ないと思いますが、学年が進み難しい課題が出されたときにあわてないように、小さいうちから図書館に親しみ、身近に本のある環境づくりをしてあげてください。

その、第一歩として、移動図書館車「おおとり号」の利用です。おおとり号は、市内小学校や児童館などを定期的に巡回しています。放課後おおとり号で本を借りたことがきっかけになって、読書好きになること間違いなしです。図書館の利用カードを持っていない方は、その場で作り、すぐ借りることもできます。移動図書館車はどなたでも利用できますので、保護者の方も機会がありましたら是非のぞいてみてください。

❁スタート！②

次に来る大きなスタートラインは、社会人一年生ではないでしょうか。誰かから守られていた学生という身分とは全く違います。すべてにおいて自由なようで、それは自己責任という名の下に成立する自由なのです。あらゆる面でそれまでの責任とは比べ物にならないほどの重さを感じることでしょう。学生のときは、わからない問題にぶつかったとき手を挙げて質問すると先生が教えてくれました。社会人はそういうわけには行きません。そんなときどうしたらいいのか？図書館に来てみてください。「社会人になる前に知っておくべき12カ条」（樋口裕一 著）、「社会人としての言葉の流儀」（川村二郎 著）など、そのほかにもたくさん参考になる本

が見つかるはずです。

❀ リスタート！

利用者の方が、「冬の間家にこもっていたけど、雪も解けて暖かくなってきたからまた本を借りに来ました」と言って、久しぶりに来館されました。それまで読んでいたシリーズの続きをまた読みたいとのことでした。またある利用者は、「そろそろ家庭菜園の準備が始まるけど、その前にもう一度本を読んで去年よりもっと良くしたいから」と言って本を借りにこられました。利用者の方々との会話の中から、日常生活でも、仕事の上でも、4月はもう一度新たな気持ちで再スタートできるチャンスだと改めて実感しました。「失敗して諦めたことを、もう一度新たな気持ちで再スタートさせよう」と、前向きになれた1日でした。

皆さんは何を「リスタート」しますか？図書館がそのお手伝いをさせていただきます。気軽に声をかけてください。スタッフ一同皆様のご来館をお待ちしております。（田代：安）

❀ 図書館の裏側、覗いてみませんか？

図書館も大館まちゼミに参加することになりました。5月16日（水）の午前10時からと5月22日（火）の夜7時からの2回、「図書館の裏側潜入ツアー」を行います。ふだん利用者が入ることのできない閉架書庫の中はどうなっているの？読みたい本を探すにはどうしたらいいの？本を借りるのにお金はかかるの？など、今さら聞けない図書館のギモンってありませんか？図書館の裏側をご案内しつつ、そんなギモンにお答えします。ご希望の日の新聞記事も閲覧できます。各回定員10名様までです。お申し込み・お問い合わせは栗盛記念図書館（42-2525）までご連絡ください。（栗盛：西）